

みんなで育てよう！稚松っ子の心と体！～家庭・学校・地域一体となって～

キーワード 学校教育支援 / 児童の健康推進 / 家庭教育支援

取組概要

学校保健委員会において、継続的かつタイムリーなテーマに取り組み、児童・保護者の健康や生活習慣の実態を把握しながら、発表内容を工夫し啓発。

取り組みの詳細

学校保健委員会 ～健康育成委員会～

○継続的かつタイムリーなテーマ設定

平成28年度より「正しい姿勢」というテーマを隔年で取り上げ、児童の姿勢体操の開発など継続的に啓発活動を行っている。また隔年で児童の健康に必要なタイムリーなテーマを取り上げている。

- H30 姿勢について
- R1 歯の健康について
- R2 姿勢について
- R3 睡眠について
- R4 姿勢について
- R5 睡眠について



テーマ「睡眠」児童発表



テーマ「姿勢」姿勢ストレッチ

○事前の実態把握

健康育成委員会で、事前に児童・保護者にテーマについてアンケートを行い、実態を把握している。



テーマ「姿勢」アンケート結果

○学校保健委員会での啓発の工夫

学校保健委員会では、児童・教職員・保護者・学校三師が出席し、健康育成委員や保健委員児童がアンケートから分かる親子間の意識の違いや年代的な成果をまとめたものを発表している。また外部講師を招いた講話やストレッチ運動、児童の創作劇、健康育成委員会委員による絵本の読み聞かせなど、健康の大切さを楽しく興味をもって啓発できるよう工夫している。



テーマ「睡眠」絵本の読み聞かせ

成果

- ・継続したテーマを取り上げることで児童・保護者の健康に対する意識を高めることができた。
- ・家庭内で健康や生活習慣について考えるきっかけとなった。

課題や今後の取り組み

- ・学校と家庭が一体となった健康教育のさらなる推進
- ・保護者への継続的な情報発信
- ・家庭内での健康に関する意識を向上させる啓発活動

その他の取り組み紹介

- ・校外生活委員会では交通指導日誌や当番表、校外巡視の結果を電子化し、情報の即時共有を図っている。また危険箇所調査の結果等も電子化し、保護者の誰でも閲覧可能になっている。
- ・ふれあい委員会では親子ふれあい教室を開催し、親子のふれあいや会員同士の交流につなげている。
- ・育松会全体で「ふれあいまつり」を開催し、バザーや模擬店を企画・運営している。（コロナ禍は「謎解きゲーム」）

所在地

石川県小松市

全校生徒数

430名

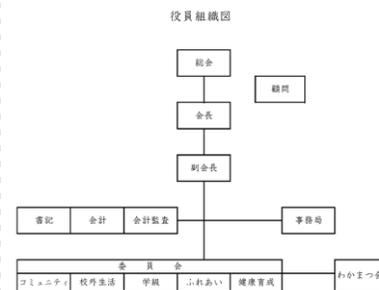
地域の特徴

小松市は、石川県西南部に広がる自然豊かな加賀平野の中央に位置している。「歌舞伎のまち」「ものづくりのまち」「乗りものまち」として歴史や文化、未来につなぐ産業・交通をを主軸に発展している。

学校の特徴

小松市の中心部に位置し、緑豊かな芦城公園が隣接している。校区内には官公庁や市立図書館、美術館などの文化施設が充実する文教地区である。令和5年度に創立150周年を迎え、「進んで学び合う稚松っ子の育成」を教育目標に掲げ、学校、家庭、地域がともに児童の育成に努めている。

組織構成



担当課：石川県教育委員会
生涯学習課

所在地

石川県珠州市

全校生徒数

145名

地域の特徴

珠州市は、能登半島の先端に位置し、美しく豊かな里山里海に囲まれ、「勝舟式豊漁」や「あえのこと」、「祭り」など、里山里海とともに生きてきた特徴ある生業や生活様式、伝統文化が受け継がれています。また、希少種をはじめとする生物多様性にも恵まれていることから、能登の4市5町とともに世界農業遺産にも指定されています。
奥能登国際芸術祭をきっかけに、これまでの取り組みが評価され、「SDGs未来都市」に選定されています。

学校の特徴

珠州市の中心部にあり、昭和43年に、当時の春日中学校・若山中学校・正院中学校・嶋島中学校の4校の統合により開設した。珠州市の中学生の75%が本校へ通学しており、校訓である「正義・勉学・友誼」のもと、「自ら課題を持ち、共に未来を創造し、切り拓いていく人間の育成」を学校教育目標に掲げている。

組織構成



総務・広報委員会
 予算案、年間事業計画、その他一般事務、会報PTAだよりの編集、発行

成人教育・保健給食委員会
 会員の研修、学校保健、給食に関すること

母親委員会
 各種学校行事への支援活動全般に関すること

担当課：石川県教育委員会
 生涯学習課

震災で離れた仲間との再会！卒業前にみんなで思い出を作ろう！

キーワード

地域連携／PTA企画／震災からの復興

取組概要

令和6年能登半島地震により、集団避難を選んだ生徒と珠洲に残ることを選んだ生徒は離れ離れの状態が続いていた。卒業式前にもう一度、卒業生、保護者、教職員みんなで集まる機会をPTAで企画。

取り組みの詳細

○地域との連携

震災の影響で地元から離れて白山市へ集団避難した生徒たちと珠洲に残った生徒たちの思い出づくりと気持ちよく卒業式を迎えるために、PTA役員が企画し、地域の施設、人と連携して実施した。

取組①親子でいい湯だな！

震災によって日常が失われ、水道も復旧していない不便な生活を送る中で地元の銭湯「あみだ湯」の協力のもと保護者、生徒、教職員で心と体を温めた。



取組②ヘアカットですっきり！

地元珠洲で美容室を経営されている方にあみだ湯へ出張していただき、無料でヘアカットをしていただいた。すっきりした髪型で気持ちよく卒業式に臨むことができた。



成果

- ・避難生活が続き、不自由な生活を強いられ、生徒同士も離ればなれの状況が続く中でも友達との絆、親子の絆、親子と教職員の絆を深める良い機会となった。

課題や今後の取り組み

- ・震災後の状況だからできた一過性の取組かもしれないが、別の形になったとしても親・子・教職員の絆を深める活動を今後も企画していきたい。

その他の取り組み紹介

- ・成人教育講演会
 (ネットトラブル、睡眠の大切さなど)
- ・PTA合唱
- ・給食試食会
- ・親子清掃ボランティア
- ・交通安全指導

子どもたちの未来のために ～学び合おう進路について～

キーワード 進路に関する知識の取得 / 学校との連携 / 全保護者への情報提供

取組概要

PTA進路委員会が保護者対象に、進路研修会や進路勉強会を企画し実施。積極的に得た進路情報を、「進路委員会便り」で全校保護者へ提供。

取り組みの詳細

【進路研修会】施設見学会・昼食会・講演会

施設見学会の後の昼食会では、卒業生が就労している飲食店で食事をし、保護者同士が就労現場での見聞状況等を情報交換。

講演会では、「特例子会社とは何か」「障害がある人が働くということについて」「ジョブコーチについて」を関係機関の講師に講演いただき、保護者が進路についての知識や情報を得た。



【進路勉強会及び各課ポスター発表】

学校の進路課とPTAの共催として進路指導担当教員が講師となり勉強会を企画・実施。

さらに、ポスター発表形式で進路や生徒指導、学校安全課等の担当者が、自主通学や服装、修学旅行等、保護者の日頃の疑問に答えた。



【進路委員会便り】

進路に関する情報や施設見学等で得た情報等をまとめて、「進路委員会便り」として発行。本校の全家庭へ配付した。

【PTAと生徒が協働】

PTA役員と生徒代表が地域の町会役員や商工会役員に対して個別に訪問し、インクルーシブ教育を進めていく上での協力依頼と、障害者理解をを図るための連携を依頼した。



成果

- ・子供の卒業後の生活を具体的にイメージ
- ・より多くの保護者間のネットワークを構築
- ・雇用に関する基礎知識の向上

課題や今後の取り組み

- ・保護者のニーズに応える常に新しい情報の発信
- ・子供の学年や発達段階に合わせた研修会の開催
- ・PTAと学校の連携強化による、保護者の希望に沿った行事の共同開催

その他の取り組み紹介

- ・チャレンジマート: 保護者が店員となり、子供が買い物体験
- ・移動水族館: 文化祭での子供のお楽しみ企画
- ・教材づくり: 教員のニーズに合わせた保護者による教材づくり

所在地

石川県金沢市

全校生徒数

465名

地域の特徴

金沢市森本は、金沢市中心部より北東に約7kmの地域にあり、田園やぶどう園等を有するとともに、IRいしかわ鉄道森本駅前広場を活用したイベントを定期的に開催し、地域の賑わい創出に取り組んでいる。

学校の特徴

石川県で初めて知肢併設特別支援学校として開校し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに基づいた教育実践、医療や福祉機関と連携した安全・安心な学校づくり、センター的機能の充実等に努めている。また、地域との積極的な交流を進め、インクルーシブ教育の推進を図っている。

組織構成

執行部

会長	1名
副会長	若干名
書記	若干名
会計	若干名
庶務	若干名
監事	若干名

委員会

親睦委員長・副委員長(小6)2名
(小学部1年～6年の保護者全員が委員)
教育活動委員長・副委員長(中2)2名
(中学部1年～2年の保護者全員が委員)
進路委員長・副委員長(高1)2名
(中学部3年・高等部1年の保護者全員が委員)
地域交流委員長・副委員長(高2)2名
(高等部2年～3年の保護者全員が委員)

担当課：石川県教育委員会
生涯学習課